

病床転換について

転換理由・転換後の具体的な内容

- ① 当院の 57 床の介護療養型病床を急性期病床に転換することにより、相模原市二次救急医療体制の当番病院としての機能の充実を図って参りたいと思っております。現在、相模原市内での収容に時として困難が生じている脳神経外科領域の患者についても、増床した病床を利用した受け入れ態勢の構築を計画していきたいと考えております。
- ② 介護療養型病床に使用が限定されている病床を急性期病床に転換することにより、地域の急性期～回復期の患者ニーズに柔軟に対応することが出来、既存の地域包括ケア病棟の活用と合わせて、地域医療の需要に貢献することが出来ると考えます。
- ③ 透析患者の入院対応について、市内に受け入れが可能な病床が限られておりますので、増床した病床を活用した受け入れ態勢の充実を図って参りたいと思っております。

以上、現介護療養型病床を急性期病床として転換運用することを計画致しました。